

研究部の歩み

昭和59年度	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究部として活動を始める ・「県下高等学校運動部活動に関する実態調査」を毎年度の活動とする
昭和60年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「調査研究部規定」の制定
昭和62年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「県下高校運動部活動に関する保護者の意識調査」を実施，全国高体連研究大会(高知)で発表
昭和63年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動部活動『中途退部者』に関する調査」を実施
平成元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「県下高校通洞部活動に関する意識調査」と「運動部活動に関する実態調査」(5年間)のまとめ
平成2・3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動部活動中におけるスポーツ傷害に関する調査」を実施
平成4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動中におけるスポーツ傷害について」の研究誌発行，全国高体連研究大会(京都)で発表
平成5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究部を「研究部」に名称変更 ・「九州・全国大会等出場者に関する実態調査」を実施
平成6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「競技力向上の方策を求めて～運動部活動に関する基礎調査と九州・全国大会等出場者に関する実態調査との比較・検討～」を発行，全国高体連研究大会(千葉)で発表
平成7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県学校体育研究発表大会で「競技力向上の方策を求めて」のテーマで発表
平成9年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「青春の軌跡－昭和43年度～平成8年度，高体連の歩み－」を発行（各校に配布） ・「運動部活動中におけるスポーツ傷害」に関するアンケートの作成
平成10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動部活動中におけるスポーツ傷害」に関する調査研究の実施 ・第33回全国高体連研究大会(新潟市)で「本県における運動部活動者の傷害の実態～傷害の防止策を求めて」を発表
平成11年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回日本臨床スポーツ医学会学術集会(東京都)で「本県における運動部活動者の傷害の実態～傷害の防止策を求めて」を発表
平成12年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ振興基本計画」の研究 ・「今後の運動部活動に関するアンケート」の実施
平成13年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の運動部活動」に関する研究の実施 ・第36回全国高体連研究大会(奈良市)で「本県における今後の運動部活動の在り方について～スポーツ振興基本計画における運動部活動の運営の改善等を踏まえて～」を発表 ・全国大会発表原稿を元に「本県における今後の運動部活動の在り方について」を編集
平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「本県における今後の運動部活動の在り方について」を発行（各校に配布） ・「本県における今後の運動部活動の在り方について～スポーツ振興基本計画における運動部活動の運営の改善等を踏まえて～」を高体連ジャーナル第3号に紙面発表 ・「競技力向上の方策を求めて」のアンケートの検討・作成
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「競技力向上の方策を求めて」のアンケートの実施
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「競技力向上の方策を求めて」に関する研究の実施 ・第39回全国高体連研究大会(四日市市)で「競技力向上の方策を求めて～平成5・6年の本県の調査研究と10年後の調査研究との比較から～」を発表
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「競技力向上の方策を求めて～平成5・6年の本県の調査研究と10年後の調査研究との比較から～」を発行（各校に配布） ・「競技力向上の方策を求めて～平成5・6年の本県の調査研究と10年後の調査研究との比較から～」を高等学校，盲・聾・養護学校保健・保健体育担当者研修会の席で発表 ・ドーピングに関し鹿児島大学橋口知先生を講師として研修会を実施 ・「ドーピングに関する意識調査」のアンケートの検討・作成
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度全国高体連研究発表大会を本県で実施することが決定
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第42回財団法人全国高体連研究大会(金沢市)で「ドーピングに関する意識調査」を発表 ・「ドーピングに関する意識調査」を編集第42回全国高等学校体育連盟研究大会報告として，平成20年度鹿児島県高等学校体育連盟会報に掲載

平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度兵庫大会での発表に向け、アンケートの内容検討・作成（継続） 「普及」部門：運動部活動の充実について
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度兵庫大会での発表に向け、アンケートの内容検討・作成（継続） 「普及」＝部活動の充実について、予備調査を行った後、本調査へ
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度兵庫大会での発表予定であったが、全国高体連研究部活性化委員会の意向により、一年先送りになり平成23年度鹿児島大会での発表 「普及」部門＝部活動の充実について、アンケート調査を集計
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 第46回全国高体連研究大会が鹿児島県民交流センターで開催 第一分科会「競技力の向上」で「高校生サッカー選手に必要な基礎体力を総合的に改善するためのボールを利用したトレーニングプログラムの検討」を発表し、優秀賞を受賞 第三分科会「部活動の活性化」で「自尊感情を高めるような運動部活動のあり方について～運動部活動に関する意識調査より～」を発表
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度宮城大会での発表に向け、「競技力の向上」をテーマにアンケート調査の内容検討、作成、予備調査を行う
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度宮城大会での発表に向け、「競技力の向上」をテーマに「スポーツに対する意識調査」についてのアンケートの内容検討 アンケート案を作成し、予備調査を行い、それを踏まえたアンケートの修正案を検討
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度宮城大会での発表に向けて、インターハイ出場者と不出場者に対して「スポーツに対する意識調査」についてのアンケートを行い、集計結果の分析、考察について検討
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 第50回全国高体連研究大会（宮城）で「本県の運動部活動生に対する意識調査～2020年『燃ゆる感動鹿児島国体』にむけて～」を発表
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度山梨大会での発表に向けて、「健康・安全」についての研究テーマ検討。産婦人科医や大学教授を招いて講習会を行い、女性アスリート支援についての研究を行うことに決定。
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度山梨大会の発表に向けて、「女子運動部顧問がもつ月経周期等の知識に関する実態調査（仮題）」についてのアンケート調査を実施。その調査結果を基に県保健体育課とシンポジウムを行った。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 第53回全国高体連研究大会（山梨）で「女子運動部の指導者が持つ月経周期等の知識に関する調査～女性アスリートのためのe-learningを用いて～」というテーマで発表